

2022 年 4 月 4 日

農 林 中 央 金 庫

責任銀行原則（PRB）への署名および Partnership for Carbon Accounting Financials（PCAF）への加盟について

農林中央金庫はこのたび、持続可能な開発目標（SDGs）やパリ協定と整合した事業活動を銀行に促すことを目的に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱する「責任銀行原則」※1 に署名いたしました。また、金融機関の投融資を通じた間接的な温室効果ガス（GHG）排出量を計測・開示するための取り組みを行う国際的なイニシアティブである「Partnership for Carbon Accounting Financials（PCAF）」※2 に加盟いたしました。

気候変動をはじめとした環境・社会課題の深刻化、コロナ禍による働き方・ライフスタイル・価値観の変容など、当金庫そして基盤となる農林水産業を取り巻く環境は急速に変化を続けています。こうした環境認識を踏まえ、当金庫は 2021 年に自らのパーパス（存在意義）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」と決めました。

パーパスの実現に向け、当金庫は 2030 年中長期目標として「農林水産業者所得の増加」と「農林中央金庫投融資先等の GHG 排出量削減▲50%(2013 年対比)」を掲げております。また、これらの達成に向けて 2030 年までに 10 兆円のサステナブル・ファイナンス新規実行を目指すとともに、サステナブル経営に取り組む組織基盤づくりの一環として女性管理者比率の引き上げにも取り組んでおります。当金庫は責任銀行原則に署名することにより、こうした取り組みを一層強化してまいります。

また、GHG 排出量削減については PCAF に加盟し、PCAF の保有する知見やデータベースを活用することにより、投融資ポートフォリオの GHG 排出量の測定・開示にかかる取組の高度化を一層促進してまいります。

※1 責任銀行原則には 2022 年 2 月現在、世界 275 の金融機関が署名しております。詳細につきましては、以下の公式ホームページ（英文）をご参照ください。

<https://www.unepfi.org/banking/bankingprinciples/>

※2 PCAF には 2022 年 2 月現在、世界 222 の金融機関が署名しております。詳細につきましては、以下の公式ホームページ（英文）をご参照ください。

<https://carbonaccountingfinancials.com/>

【本件にかかるお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 （宮澤・水元）

Tel: 03-6362-7172